



7/24(木)25(金)26(土)

ナイター開催 川崎スポーツ

## レース展望

7月24日から始まる川崎競輪はデイリースポーツ杯争奪戦・おつけの慶22周年カップとして行われるFIナイター開催。S級・A級ともに東日本・中部近畿から脚力差の無い選手が集まったの接戦が予想される。

S級戦の地元勢で中心になるのは石塚孝幸(89期)で、現在はS級1班でもあり初日特選スタートから手堅く着をまとめている印象。後輩の徹底先行新村穰(119期)と同乗すれば番手有利にレースを進めて直線抜け出しを決めよう。南関は2班にも有力選手が集まり、主導権を奪った時の強地脚に定評のある野口裕史(千葉111期)や好位キープからのバック捲り強烈な築田一輝(静岡107期)

と揃って強力ラインを形成する場面がありそうだ。東北は宮城の竹内智彦(84期)と尾形鉄馬(107期)の堅実追込型が主力となり、上手い立ち回りから最後にどこまで差脚を伸ばして来られるか。関東は強力自力型である吉田有希(茨城119期)がブンブンレースを引っ張る展開が考えられ、スナリ主導権ならもちろん逃げ粘る可能性が高い。中部近畿勢は今開催は層が厚く、自力自在にレースを組み立てる福井の脇本勇希(115期)と小森貴大(111期)がツートップで、そこにS1マーク陣の松村友和(大阪88期)・笠松信幸(愛知84期)・上田国広(三重89期)が続いて上位進出を目論む。

A級戦でのV争いは南関・関東・中部の三地区

で三つ巴となりそうだ。まずは南関勢で前期S級の積極型原田亮太(千葉115期)が先手を譲らない組み立てから、ベテラン加藤圭一(神奈川85期)や土屋裕二(静岡81期)と好連係を見せるはず。関東では栃木コンビが主力になり、小池千啓(119期)・一星野辰也(95期)の並びで本線に一撃を見舞うか。中部は長らくS級で活躍していた山内卓也(愛知77期)が3年ぶりのA降級となったが、近況は鋭いキメ脚で連対を多く果しておりもちろん軽視は出来ない。行きつ振り抜群南下井竜(三重117期)の仕掛けに乗って、直線一気の差し切りを披露するだろう。

実力互角でもVチャンスあり

**S級 主力選手**



**築田一輝** 静岡 107期

6月四日市GⅢ優勝など、近況は抜群に流れが良い。先行までは考えづらいが、流れに応じた自在な走りが魅力。マーク戦なども卒なくこなすオールラウンダーで、今期は2班の格付けで予選回りとなるが、当地は好走するイメージがあり優勝候補として注目する。

**S級 主力選手**



**吉田有希** 茨城 119期

パワフルな自力勝負でトップクラス相手でも、一撃見舞う機動力を持つ。しっかり長い距離も踏めるので、逃げでも捲りでも勝負できる。久しく優勝からは遠ざかっているが、今シリーズはGⅡ直後の裏開催でチャンスは十分。8月のオールスターに弾み付けたい。

**S級 主力選手**



**小森貴大** 福井 111期

4月当地での記念で決勝進出、3着で確定板に上がったのは記憶に新しい。自力基本に最近では流れに応じた柔軟性も出てきていて成績もまとまりつつある。今開催は同県脇本勇希と共に優勝争いに加わりそう。相性良いこのバンクで今年初のVの狙いたいところ。

**A級 注目選手**



**原田亮太** 千葉 115期

ダッシュは鋭く長い距離も踏める積極先行型。S級でも十分戦える力がありながら、今期はA級降級。おそらくA級では警戒される立場となりそうだが、それをねじ伏せるだけの機動力は十分。今期は常にレースの中心となる。南関勢には頼もしい存在だろう。

**A級 注目選手**



**山内卓也** 愛知 77期

ビッグレースを数多く走ってきた中部のテクニシャン。今期はA級降級となったが、現代の競輪に対応しつつ要所でいぶし銀の活躍を見せる。自力選手からの信頼も厚く、山内が付くことで先行意欲も何割か増すだろう。今シリーズは中近地区の司令塔として注目。

川崎競輪場バンクガイド (2024年1月~12月データ)

昨年1年間28開催・936レース(ガールズケイリンを含む)の川崎バンクの決まり手は右表の通り。昨年までのデータと逃げ・捲り・追込・マークのパーセンテージには大して変わりはないが、1着に限って言えば逃げ・捲りの決まり手は変わらず50%を超えているので、自力型のアタマから組み立てていく車券戦略が可能だろう。川崎名物イエローライン付近のゴール前強襲は、選手たちも新バンクに慣れて徐々に出現率が高くなってきている感であり、力のある追込型はたとえ後方に置かれたとしても、最終4コーナーから一気に巻き返す可能性もあり軽視出来ない印象だ。

1着決まり手

2着決まり手